



ファミリーニュース

編集発行

カトリック一宮教会事務局広報委員会
〒491-0044 一宮市大宮1-7-1
TEL (0586) 73-4884
FAX (0586) 59-5884
ホームページ版

8月号

2024

戦争をくぐり抜けて

主任司祭 太田 実

7月20日午前11時から一宮市博物館で開催された浅野美和子さんの講演会「戦争をくぐり抜けて」を聴きに行きました。

講演には人数制限があるとのことで、開館時間の9時30分に合わせて会場に行きました。博物館では企画展「戦時下の一宮」が開催中でした。博物館展示室に灯火管制で薄暗い部屋が再現され、中にはいることもできました。

博物館の案内には次のように書かれていました。

「今年で第二次世界大戦の終結から79年の歳月が経過し、当時の生活を知る人は少なくなりました。戦争を知らない世代にとって、戦争は教科書で勉強する歴史上のできごととなっています。本展では、遠い昔のできごとと捉えられがちな戦争下の暮らしを身近に感じてもらうために、暮らしの中で使われていた生活道具や出版物などを通して、主に太平洋戦争の状況下での一宮市域の人々の暮らしに焦点を当てながら、戦時体制下の生活などについて紹介します。」

時間になると、浅野美和子さんが席に着き、司会者の方とのやり取りをするという仕方でお話を始めました。

わたしの印象に残ったことは、大勢の人と共に、親子で西の方に向かって逃げ、田んぼの中で夜を明かすと、近所の農家の人がおにぎりを持ってきてくれおいしく頂いたとおっしゃったことです。

未曾有の大空襲に遭っても、ひもじい思いをしている人を見ると食べ物を分け合おうとする人がいることに心を打たれました。

浅野さんは一宮教会でも講演をなさったと聞いておりますが、90才というお年にもかかわらず、疎開、一宮大空襲、終戦、戦後のご苦勞を分かり易くお話ししてくださいました。

「過去に目を閉ざす者は結局のところ現在にも盲目となります。非人間的な行為を心に刻もうとしない者は、またそうした危険に陥りやすいのです。」というドイツ敗戦40周年に当時の大統領ヴァイツェッカーが言った言葉を思い出しました。



会場で浅野さんの写真を撮ってもいいといわれ、たまたま二列目に座っていたのでお写真をお撮りしました。

なお、企画展は8月18日(日)まで開催中です。観覧料は500円ですが、一宮市在住の65才以上の方は、免許証などの証明書があれば無料です

第1回「サロンの会」の報告

社会委員長 橋本裕明

6月の教会評議会で、キリスト教会をとりまく社会状況を国際的立場から学び、福音宣教につなげるという趣旨で、勉強会を企画することが決定されました。今後はこの方向でさまざまなテーマを検討していきますが、まずは世界の歴史と文化を知ろうということで、私たちの共同体の一員であるフィリピンとベトナムの信徒の方から、卓話をしていただくことにしました。今後の企画については順次、お知らせしていきます。

7月21日はトップバッターとして、木村エリンダさんに「フィリピンの歴史と文化」としてお話していただきました。フィリピン諸島の数、フィリピンの国旗の意味、言語などの紹介などに始まり、16世紀中世(大航海時代)のスペイン人によるフィリピンへのキリスト教宣教(マゼランの紹介もあり)から日本による軍事侵略、アメリカによる英語文化の導入の歴史を、カラフルなスライドを用いて、1時間ほど楽しく紹介してもらいました。準備していただいた文化面(料理、生活など)については、今後またお話していただきます。

私たち日本人はフィリピンについては、宗教弾圧として長崎西坂で多数のキリシタン処刑(日本二十六聖人)を命じた豊臣秀吉が、天下統一の同時期に、朝鮮出兵を企て、フィリピンの侵略を狙っていたという事実や、第二次大戦時のフィリピンにおける捕虜の虐待、特にアメリカ軍とフィリピン軍の「バターン死の行進」の事実を知っており、これらの事実に対する責任を感じざるをえません。木村エリンダさんは日本の軍事侵略には遠慮がちにしか触れられませんでした。私たち日本人はあたらめて銘記すべきだと思います。

木村エリンダさんは40年ほど前に日本に来られ、一宮教会に所属されました。以来、同胞フィリピン人の方々の生活上の援助をして来られました。今はIPC(一宮フィリピンコミュニティ)の代表を務めておられます。これからも生活の支援はもとより、ビザの勉強会を行ったり、ベトナムの人たちとの交流を深めていきたいと考えておられます。



一宮教会平和旬間行事



① 平和祈願ミサ

日時:8月6日(火) 8:00～

場所:カトリック一宮教会聖堂

広島・長崎の原爆犠牲者、すべての戦争被害者、今なお戦争によって苦しめられている戦争被害者のために祈りましょう。
平日ですが、多くの方のご参加をお願いします。

② 大乘公園慰霊祭

日時:8月11日(日) 12:00～ (雨天決行)

場所:大乘公園(一宮市桜3-14-1 名鉄バス「松降2丁目」下車徒歩5分)

現地集合・現地解散

一宮空襲犠牲者の慰霊のため、大乘公園殉難碑前でロザリオの祈り一連と「平和の祈り」を唱えます。

※各自暑さ対策(帽子、日傘等)の上、健康状態に留意してご参加下さい。



物故者追悼のミサ

日時 8月11日(日) 10:00

※ミサ後、焼香の時間を設けます。

聖母被昇天のミサ

日時 8月15日(木) 10:00

第39回カトリック名古屋教区「障害者の集い」

—インクルーシブな教会・社会を目指して—

日時 2024年9月8日(日)

場所 カトリック一宮教会

日程 9:00 受付

10:00 ミサ 松浦悟朗司教司式

11:30 昼食・交流会

13:00 講演会「手と光を失って教師となる」

講師:藤野高明氏

15:00 閉会



公式ホームページもぜひご活用ください。

カトリック一宮教会

検索



公式ラインの
登録はこちらから



訃報



印刷版に掲載しています。
教会入口スタンドにあります。 (92歳)

2024年7月13日 帰天



永遠の安息をお祈りいたします



2024年8月のミサの意向 (7月25日までの申し込み分)

印刷版に掲載しています。
教会入口スタンドにあります。